

市の消防と消防団の役割



各地域にある消防団は、実際にどのような活動をしているか、よく分からない方も多いのではないのでしょうか。ここでは、消防団の役割などを紹介します。

○ 消防署と同じ消防機関

消防団は、消防署と同じ消防機関です。消防署が常備の消防機関であるのに対し、消防団は非常備の消防機関です。

平素は生業を持っている市民の方が、災害発生時には消防団員となり、消防活動を行います。

○ 非常勤特別職の公務員

消防団員は、災害発生時は公的な活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。

市の条例、規則で身分や階級、職務などが定められています。

○ 二足のわらじ

消防団員は、本来の仕事をしなから、団の活動を行っているため、二足のわらじを履いているといわれます。

○ 地域に根ざした活動

消防団は、主にその管轄区域に住んでいる皆さんで組織されていますので、そこに住んでいるからこそ分かります。

災害の発生現場では混乱が想定されます。その際には正確な情報が重要です。その情報を得るためにも、普段から地域とのつながりを大切にしています。